



# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 98  
2020. 3月号  
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



## <季節の写真>

武石地区の災害現場視察の際に見つけた福寿草です。武石地域の福寿草は色が鮮やかだそうです。

(2月19日)

◆新型コロナウイルス対策で、市役所をはじめ様々なところに対応に奔走しています。早く、収束に向かってもらいたいものです。◆小・中・高、特別支援学校の全国一斉臨時休校の要請は、安倍首相の政治決断であるとされますが、エビデンス(根拠・証拠)が乏しく、しかも準備期間なしで現場は大混乱です。◆3月1日付で、土屋陽一市長と峯村秀則教育長宛てに「新型コロナウイルスに伴う市内小中学校の臨時休校について、5項目の緊急申し入れ」を行いました。◆3月11日がくると東日本大震災が思い出されます。毎年復興支援に行っている岩手県陸前高田市へ連絡しました。農業テーマパーク「オーガニックランド」計画があるとのこと。復興が少しずつ進んでいるようです。◆上田市議会3月定例会は、2月21日から3月18日まで開催。◆5つの会派の代表質問が行われ、日本共産党上田市議団を代表して私が行いました。私は、丸子町議会・上田市議会の通算質問回数は132回。70分の時間制限の中で、市長には6項目、全体で26項目の質問を行いました。◆3月議会では、土屋市長に就任後2年の折り返しにあたる質問が出ました。市長だけでなく、私自身も整理をしようと思い、裏面にこの2年間のまとめをしてみました。自己評価は難しいので、第三者の目線で行ってください。(くぼた よしお)

## 「令和元年東日本台風災害」「中小企業・小規模企業振興条例」など市長の政治姿勢を問う

### 【災害に強いまちづくりをどう作るか】

質問 災害に強いまちづくりの目標値をあげることや上田市が自治会、まちづくり組織、企業、大学、NPOなどとの協働を一層すすめることについての市長の見解は。

市長 災害に強いまちづくりには、市民や自主防災組織、消防団など地域のさまざまな力を結集し、地域防災力を基軸とした取り組みが重要。自治会を対象にしたアンケート調査などから課題を抽出した上で検証を行う。



<落橋した歩道と通行止めの内村橋>

### 【防災に関する条例制定を検討すべき】

質問 岡谷市が大きな被害を出した平成18年7月豪雨災害から10年目の節目の年に「岡谷市防災・減災基本条例」を制定した。上田市でもこの機会に防災に関する条例制定を検討すべきだ。

市長 岡谷市の取り組みは大変参考になります。ご提案は傾聴に値するものととらえている。地域防災力の向上のためどのような取り組みが効果的かどうか、現在進めている検証も踏まえて研究させてもらいたい。

### 【上田再構築と重点施策の関係は】

質問 市長が表明している「改革すべきは改革し、継続すべきものは磨き上げる『再構築』の視点」とはどのようなことなのか、当初予算の重点施策にどのように反映しているのか。

市長 私の考える再構築とは、市民の皆さんの幸せのためさまざまな課題への対応に当たり、まずは、すべての事業の今日的意義や役割や手法の適正性や民間等への移管可能性などについて柔軟な視点から再考し、改革すべきは改革し、継続すべきはさらに磨き上げ充実させまちづくりに取り組むこと。一例をあげるとわがまち魅力アップ応援事業の新規募集を終了し、県の元気づくり支援金事業の対象とならない小規模事業にあらたな補助制度を創設し、地域活動を支援するように見直した。

### 【中小企業・小規模企業振興条例の意義】

質問 中小企業・小規模企業振興条例が制定されても、条例を活用することや具体的な政策立案まで踏み込むことが必要と考えますが、提出にあたっての市長の見解は。

市長 上田市商工業振興プランの見直しを行いながら、企業ニーズや経済情勢に即した施策を策定し実行していくことが重要。このため、条例に定める基本理念や施策の基本方針を踏まえた見直しを行うため、新年度予算に検討委員会の開催経費を計上した。中小・小規模振興施策を効果的に展開したい。

### 【今後のサントミュージーゼの運営方針は】

質問 昨年8月に設置された運営検証委員会の答申をどのように受け止め、今後のサントミュージーゼの運営方針に活かしていくのか。

市長 答申にある常設の運営検証組織については6月定例会に設置条例と関係予算を上程する。4月1日からは、新しい館長が就任予定。将来を見据えた健全な施設運営と市民の文化芸術の振興のために有効活用していく。

※3月3日の信毎に掲載されましたが、サントミュージーゼの開館後に館長を務めてきていただいた津村卓つむらたかしさんが退任予定です。後任は、元市教育委員長の西田不折にしだふせつさんが予定されています。

### 【地球温暖化防止対策にどう取り組むか】

質問 持続可能な地域社会を維持し推進する観点から、温暖化防止対策の必要性をアピールするために、上田市として「気候非常事態宣言」をする考えはあるか。

市長 まずは、長野県の気候非常事態宣言に賛同し、市としての宣言については、前向きに検討して結果を出していきたい。

